



本所の探究って何？

簡単にご紹介します！

総合的な学習の時間との違いは？

▶総合的な学習の時間

課題を解決することで自己の生き方を考える

▶総合的な探究の時間

自己の在り方生き方と一体的で、**課題を自ら発見し解決していく**

何のためにやるの？

人は、生まれた時から「これはどうなっているのか」「なぜこうなるのか」といった**好奇心**を誰でも持っていますが、得点や受験のみを意識した学習を重ねていくと、その大切さを見失ってしまいがちです。これからの社会を生きていくためには、知識をただ覚えるだけではなく、学校を卒業した後にもつながる力をつけておくことが重要だと考えています。

本校の探究では、上記のような力を身に着けるために、自分のやりたいことに焦点を当て、8つの分野に分かれて活動していきます。

日常生活や自分の関心事に問題意識をもって「**問い**」を立ち上げ、その問いに「**根拠**」を添えて論文形式で書き上げていく一連のプロセスを経験していきます。

これらを経て、**社会をより豊かに生きていく力**を身に着けます。

8分野って何？

1年生の秋より、以下の8つの学問分野に分かれて活動しています。

- 自然科学分野
- 人文学・芸術分野
- 情報・テクノロジー分野
- 社会学分野
- 国際分野
- 健康・スポーツ分野
- 生活科学分野
- 地域活性化分野

どんなことをするの？



興味・関心を広げる

自分がどんなことに興味・関心を持っているのかを個人・グループワーク形式で広がっていきます。

校外からも多くの講師（企業・大学）が来校し、学問や分野毎の魅力を講演していただきます。



本（文献）を通して深める

興味関心のある事や、自分の立てた問いに関する周辺知識を調べていきます。

本校の蔵書だけでなく、様々な本と触れ合うことで自分の世界が広がります。



対話を通じて自分と向き合う

自分がどのように考えているのかを友達や教員との対話を通じてアウトプットする機会が多くあります。



地域との連携 / 大学院生の協力

墨田区の商店街と連携し、地域フィールドワークを実施。より活発にするためのアイデアを地域に向けて発信します。

大学院生が来校し、探究の進捗状況や困りごとに対して「促進役」としてサポートします。



論文形式で自身の学びを整理

2年生の最後には、自分が立てた問いに対する現時点での答えを論文形式で整理し、まとめていきます。

主体性や「高校で何を学んだか」を問う大学が増え続ける中、探究は入試にもプラスに働くものになります。



中間報告・ポスター発表会の実施

探究を進めていく上でわかったことを定期的に報告し、自分の現在地を確認します。

最後はポスターセッション形式で他者に報告し、フィードバックをもらいます。